

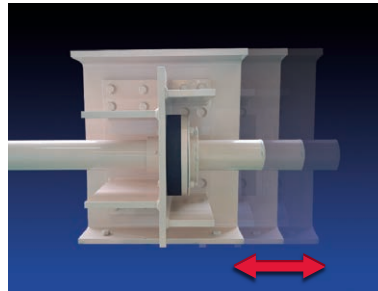
パイプ型落橋防止システム



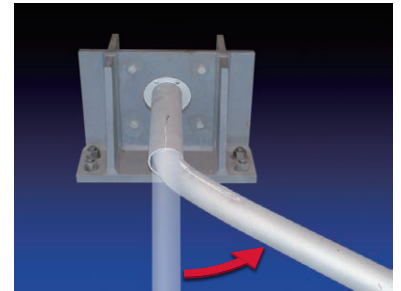
※写真右側のパイプの切り欠きはサンプルです。

シンプルなスタイル

従来品は桁の伸縮に対してバネで追従させてきましたが、パイプをスライドさせることで伸縮に対応。また、ロープの曲げに対しては偏向具ではなく、パイプの塑性変形に対応させるシンプルな構造になっています。



伸縮の追従

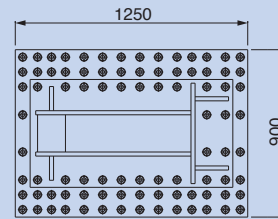


ロープの曲げ変形

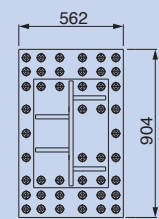
コンパクト設計

偏向具を必要としないためコンパクト化を実現。スペースが狭く、従来のブラケットでは設置が困難だった箇所にも設置することが可能です。

外形寸法の比較(例:600kNで計算)



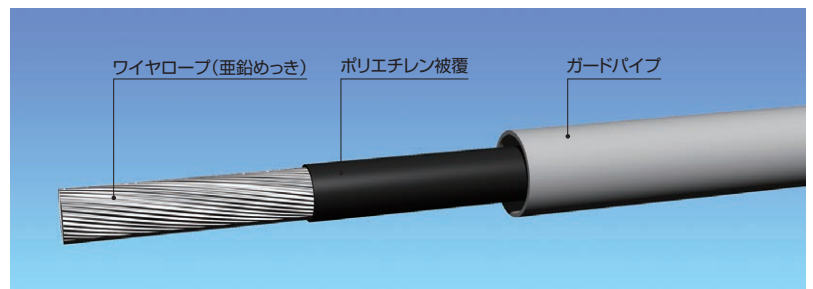
従来型落下防止システム



パイプ型落橋防止システム






抜群の耐久性

従来使用されているPC鋼より線はポリエチレン被覆が主流です。本製品は、ロープ自体にめっきが施しており、さらにポリエチレン被覆、パイプの3重防食を実現。高い防食性能を確保します。

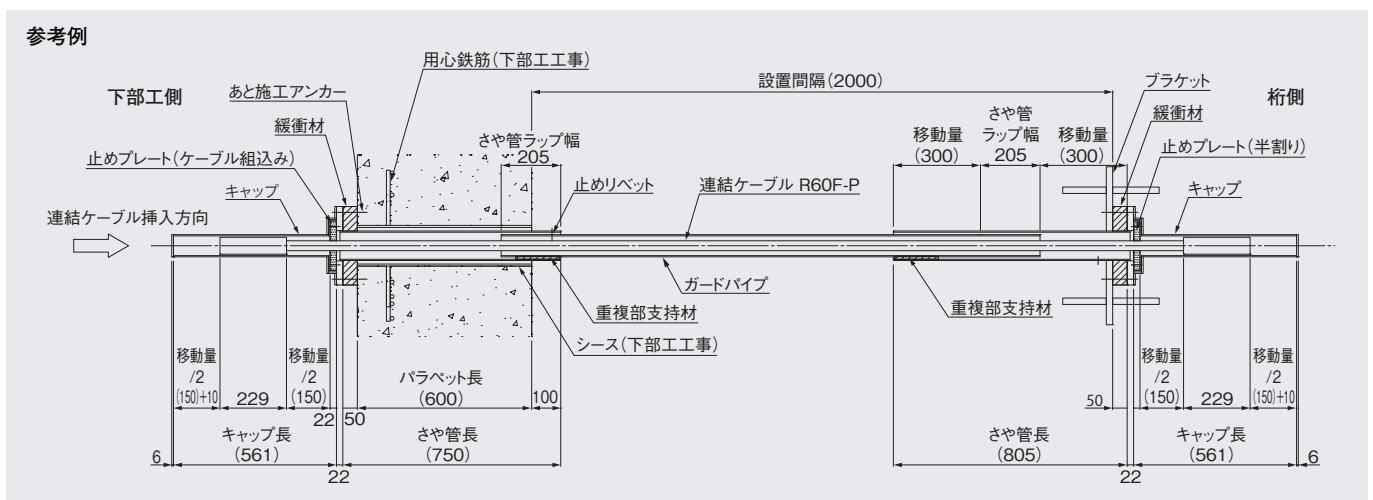


3重防食のイメージ図

規格表

	R20F-P	R40F-P	R60F-P	R80M-P	R100M-P
構成	7×7 ST1470				
公称径 (mm)	20	24	30	24×2	30×2
被覆後径 (mm)	24	28	34	28×2	34×2
断面積 (mm ²)	195	281	438	562	876
単位質量 (kg/m)	1.71	2.72	4.23	4.93	7.76
引張荷重 (kN)	258	372	580	744	1160
降伏荷重 (kN)	193.5	279	435	558	870
構造ケーブル断面					

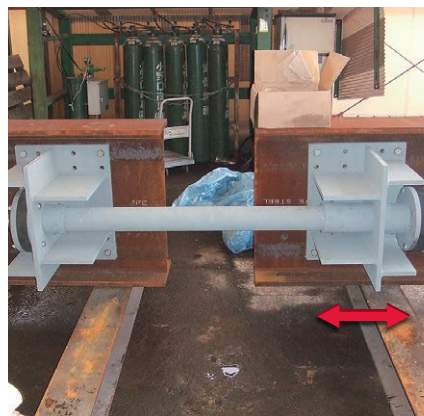
概略図



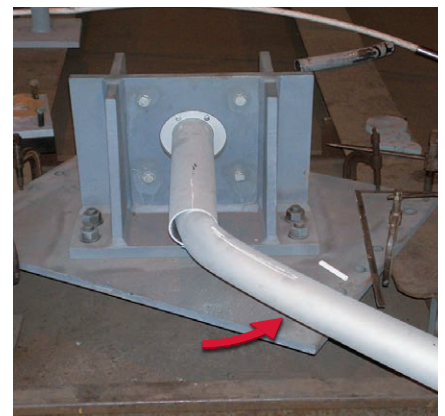
性能確認試験



▲衝撃確認試験



▲組立・可動確認



▲パイプ曲げ試験



東京製綱株式會社

本社 鋼構造ケーブル部

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(湊澤シティプレイス永代) TEL.(03)6366-7733 FAX.(03)3648-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・北陸・広島・鹿児島 エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

https://www.tokyorope.co.jp お問い合わせ●inquiry_bridge@tokyorope.co.jp

※本カタログに記載された仕様やその他の内容は、品質・性能向上等のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

23-06-SA 禁複製